

# いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol. 7 来年に向け、水分補給と礼肥、病害虫対策等をしっかりと！

来年のために花芽を充実させよう！

- ①雨除け資材の撤去を早めに行い、土壤水分を確保する
- ②礼肥を速やかに効かせる
- ③しっかり防除して葉を健全に保つ



夏～晩秋は花芽の形成期

## 1 礼肥の施用

【基準】年間施肥量：窒素成分で **15 kg/10a 程度**  
 礼肥の割合：年間施肥量の **20～50% (3.0～7.5 kg/10a)**  
**着果が少なく、新梢生育が旺盛な園地・樹があります。**  
**園地の状況に応じて施肥量と時期を調整しましょう。**

### ○施肥量・施肥時期

樹・園地	年間施肥量	礼肥の割合	施用時期
樹勢強、地力高、着果量少	基準より減	0～20%	新梢停止後
樹勢中庸(適正樹勢)	基準量	20～50%	収穫後速やかに
樹勢弱、地力低、着果量多	基準並～増	50～100%	収穫後速やかに

※砂質土壤等、肥料持ちが悪い園地は7月と8月に分けて施用

※礼肥の割合が50%以上の場合、緩効性肥料も加える(例.速効性50%+緩効性50%)

### ○速やかに効かせるために・・・

- ・礼肥は**速効性肥料**を中心に
- ・**施肥後に降雨がなければ灌水**(20～30t/10a)
- ※ かん水設備がない場合は、  
樹冠下を中心にできるだけ灌水

<参考> 適正樹相の目安

品種	目通りの新梢長	2年枝上の新梢数
佐藤錦	20～30cm 程度	1～2 本程度
紅秀峰	30～50cm 程度	1～3 本程度

## 2 今後の防除 (収穫後の管理も抜かりなく！)

### (1) 褐色せん孔病 **昨年、多発傾向だったため注意！**

- ・収穫直後から8月中旬までに2週間程度の間隔で、  
「少なくとも3回は必ず」防除

褐色せん孔病



健全な葉を  
病気・ハダニ類等から守ろう！

### (2) ハダニ類 **高温・乾燥で増殖！**

- ・高温になる前に、丁寧にムラなく散布  
※収穫後は、雨除け被覆資材を速やかに撤去
- ・散布は草刈り3日後に実施  
※高温乾燥時は、頻繁な草刈りを避ける

**高所作業時の転落防止、熱中症にも十分注意しましょう！**

村山総合支庁農業技術普及課 ・ 西村山農業技術普及課 ・ 北村山農業技術普及課

TEL 023-621-8270

TEL 0237-86-8215

TEL 0237-47-8631

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会(事務局:農林水産部園芸農業推進課・農業技術環境課)